

## 令和5年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2023年9月5日（火）10時00分～10時30分
出席者	市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局財務課長 健康局長、健康局保健所部長、健康局政策課長、健康局保健所保健課課長、健康局保健所保健課係長
議 題	精神保健福祉対策の強化
提案概要	<p>○精神保健福祉対策における重症化予防のための積極的な支援体制を構築し、国の方針である「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（にも包括）」を推進することで、精神障害の程度に関わらず、だれもが安心して自分らしく暮らすことができる地域共生社会を目指すため、下記項目について提案。</p> <p>&lt;早期支援体制の構築&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生活している精神保健福祉の対象者ができるだけ早い段階で、適切な医療や福祉サービス等の社会資源につながるができるよう、多職種で構成されたアウトリーチ支援体制を構築する。</li> </ul> <p>&lt;退院促進プログラム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2004年に国が「精神保健医療福祉の改革ビジョン」において「入院医療中心から地域生活中心へ」という理念を示し、2015年以降は、国の基本指針において、長期入院者の減少を目指す考えが打ち出されている。</li> <li>・入院の長期化による退院意欲の低下を防ぐため、退院支援を行うにあたり必要な知識や理解に関するプログラムなどを医療機関に提供するなど、医療機関と連携し、退院可能な入院患者の退院意欲を喚起し、地域への移行を促進する。</li> </ul> <p>&lt;自殺対策の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺総合対策大綱において、2026年の自殺死亡率を2015年比で30%以上減少させるとの目標が示されているが、長らく減少傾向にあった自殺死亡率が2019年ごろから増加に転じている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市こころといのちの電話相談の相談件数も、2020年度以降年々増加しており、電話相談に対する需要がさらに増加している。</li> <li>・全自殺者のうち4割に自殺未遂歴があることから、自殺未遂者が搬送される救急医療機関と連携した自殺未遂者及び家族等に対する支援体制の構築など、自殺未遂者のフォローアップを行う。</li> </ul> <p>&lt;依存症対策の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依存症の外来患者数は、コロナ禍における社会経済や生活様式などの変化により、近年増加傾向にある。神戸市における相談件数においても、2020年には前年から1.33倍の相談件数となり、以降、相談件数は年間600件前後の状況が続いている。</li> <li>・依存症からの回復には、周囲の依存症に関する正しい理解と関わり方が重要となることから、依存症家族に対して、プログラムを提供し、正しい知識や接し方などを知る機会を提供する。</li> </ul>
<p><b>会議結果</b> (主な意見等を含む)</p>	<p>全体の方向性については了。次年度予算の編成に向けて、引き続き検討を深めること。</p> <p>精神保健福祉対策における重症化・問題発生防止のための積極的な支援体制の構築について議論を行った。</p> <p>○今後の検討にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依存症対策の強化については、社会問題になっているスマホ依存にも対応することが必要。</li> </ul>